

## 2025年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社NEXYZ Group

コード番号 4346 URL <https://www.nexyzgroup.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 太香巳

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理本部長 (氏名) 松井 康弘 TEL 03-5459-7444

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年9月期第1四半期の連結業績（2024年10月1日～2024年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第1四半期	6,260	19.4	236	35.7	233	33.1	74	116.8
2024年9月期第1四半期	5,243	6.3	174	△15.8	175	△14.5	34	△76.0

(注) 包括利益 2025年9月期第1四半期 393百万円 (310.7%) 2024年9月期第1四半期 95百万円 (△44.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第1四半期	5.75	—
2024年9月期第1四半期	2.65	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在していないため、記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年9月期第1四半期	18,210	5,351	13.8	193.11
2024年9月期	18,342	5,218	13.9	196.06

(参考) 自己資本 2025年9月期第1四半期 2,512百万円 2024年9月期 2,550百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2025年9月期	—	—	—	—	—
2025年9月期（予想）	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,500	4.1	1,500	26.1	1,500	29.7	700	14.4	53.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年9月期1Q	13,471,240株	2024年9月期	13,471,240株
② 期末自己株式数	2025年9月期1Q	462,167株	2024年9月期	462,147株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年9月期1Q	13,009,073株	2024年9月期1Q	13,009,486株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(会計上の見積りの変更に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期会計期間における我が国の経済は、円安によるインバウンド需要の増加や、雇用・所得環境の改善により景気は緩やかな回復傾向にありました。一方で、欧米における高金利水準の継続や中国経済の先行き懸念が国内経済に与える影響など依然として先行き不透明な状況が続いております。GDP伸び率は、2024年7月～9月に前年同月比0.3%増となりました。消費者物価指数（生鮮食品除く）は、前年同月比2.3%～3.0%の間で推移しております。

このような状況の下、当社グループでは、今後も成長が見込まれる「ネクシーズZERO」、「アクセルジャパン」の拡大に特に注力しております。当第1四半期連結会計期間においては、当社の強みである全国規模で展開できる提案型の営業力を活用し、それぞれ契約数が順調に増加しております。

これらの結果、売上高6,260百万円（前年同四半期比19.4%増）、営業利益236百万円（前年同四半期比35.7%増）、経常利益233百万円（前年同四半期比33.1%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は74百万円（前年同四半期比116.8%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間における報告セグメントの概況は次のとおりであります。

#### [エンベデッド・ファイナンス事業]

エンベデッド・ファイナンス事業では、設置工事費用を含めた初期投資オールゼロで、顧客に最新の省エネルギー設備等を導入できる「ネクシーズZERO」の提供、利用者獲得業務及び省エネルギー設備等の販売を行っております。

当第1四半期累計期間においては、金融機関からの案件紹介が着実に増加しており、連携して顧客の要望に合わせた営業提案ができております。また、組織規模が拡大する中で、地域特性を踏まえた経営判断の迅速化を目的として、支店を分社化し、現地法人化いたしました。これに伴い、営業活動をより効果的に行うことができております。

これらの結果、エンベデッド・ファイナンス事業は、売上高5,042百万円（前年同四半期比23.0%増）、セグメント利益232百万円（前年同四半期比15.5%増）となりました。

#### [メディア・プロモーション事業]

メディア・プロモーション事業では、企業プロモーション支援を目的として、インターネットを主とした各種サービスを提供しております。

当第1四半期連結累計期間においては、タレントを起用した企業プロモーション支援プロジェクト「アクセルジャパン」において顧客に能動的にアプローチするプッシュ型営業の実施や、潜在顧客の発掘を目的に展示会への積極的な出展など、新規契約の獲得を推進したことに加え、既存顧客に対してカスタマーサクセス強化による顧客満足度向上への取組みを行い、更新契約数が増加いたしました。そのほか、電子雑誌やECサポート等各種ソリューション業務においては、自治体への取組みとして宮城県の大賀城創建1300年記念イベントに「3Dホログラム映像演出サービス」を提供いたしました。

これらの結果、メディア・プロモーション事業は、売上高1,223百万円（前年同四半期比5.8%増）、セグメント利益224百万円（前年同四半期比11.2%増）となりました。

#### [その他事業]

その他事業では、電力小売「ネクシーズ電力」の提供を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、電気代の回収代行・既存顧客への窓口対応、電力契約の取次を行ってまいりました。

これらの結果、その他事業は、売上高7百万円（前年同四半期比285.1%増）、セグメント損失0百万円（前年同四半期セグメント利益0百万円）となりました。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は18,210百万円となり、前連結会計年度末に比べて131百万円の減少となりました。

## ① 資産の状況

## (流動資産)

流動資産は12,283百万円となり、前連結会計年度末に比べて295百万円の減少となりました。これは主に、資産の控除項目である貸倒引当金が148百万円減少した一方で、リース債権が427百万円減少したことによるものであります。

## (固定資産)

固定資産は5,927百万円となり、前連結会計年度末に比べて163百万円の増加となりました。これは主に、保有上場株式の時価上昇等に伴い投資有価証券が143百万円増加したことによるものであります。

## ② 負債の状況

## (流動負債)

流動負債は9,995百万円となり、前連結会計年度末に比べて469百万円の減少となりました。これは主に、解約調整引当金が212百万円増加した一方で、買掛金が384百万円、賞与引当金が353百万円減少したことによるものであります。

## (固定負債)

固定負債は2,863百万円となり、前連結会計年度末に比べて204百万円の増加となりました。これは主に、長期借入金が63百万円、繰延税金負債が143百万円増加したことによるものであります。

## ③ 純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は5,351百万円となり、前連結会計年度末に比べて133百万円の増加となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が146百万円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年11月14日公表の「2024年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はございません。

なお、連結業績予想の将来予測につきましては、以下のとおりです。

## [エンベデッド・ファイナンス事業]

エンベデッド・ファイナンス事業においては、業務用のLED照明、冷蔵庫、空調を中心として様々な設備を取り扱っております。今後も引き続き取扱商材の幅を広げてまいります。同事業では日本全国に30か所以上の営業拠点を設けており、現地採用による人員の増員や、地方銀行や信用金庫との連携強化、子会社の現地法人化を促進することで地域に根差した営業活動も強化してまいります。これらの施策により、顧客の幅広い設備投資需要に対応すると同時に、潜在顧客の掘り起こしに注力し、業容の拡大を目指してまいります。足元の顧客の設備投資需要も堅調に推移していることから引き続き受注も増加するものと予想しております。

## [メディア・プロモーション事業]

プロモーション支援業務につきましては、タレントを起用した企業プロモーション支援プロジェクト「アクセルジャパン」において、引き続き新規契約、更新契約を増やし、大幅な売上高増を目指してまいります。

電子雑誌業務につきましては、主力電子雑誌「旅色」において、インバウンド対策の強化やニーズにあわせた新商材を柔軟に追加する多商材化戦略により、広告売上の更なる増加を目指してまいります。

ソリューション業務については、主力サービスである「ECサポートサービス」等の国内外での事業領域の拡大を図ってまいります。

## [その他事業]

その他事業につきましては、電気代の回収代行・既存顧客への窓口対応のみ行っており、影響は軽微と見込んでおります。

上記各事業の前提に基づき、主要事業であるエンベデッド・ファイナンス事業、メディア・プロモーション事業がそれぞれ引き続き伸長することで、増収増益を見込んでおります。

2025年9月期 通期連結業績見通し (2024年10月1日～2025年9月30日)

売上高	25,500百万円
営業利益	1,500百万円
経常利益	1,500百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	700百万円

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,844	5,704
受取手形及び売掛金	2,880	2,833
リース債権	3,255	2,827
商品	471	445
未収入金	505	419
前払費用	300	376
その他	518	725
貸倒引当金	△1,197	△1,049
流動資産合計	12,578	12,283
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	960	951
工具、器具及び備品（純額）	95	87
その他（純額）	0	0
有形固定資産合計	1,056	1,039
無形固定資産		
ソフトウェア	101	105
その他	0	0
無形固定資産合計	101	105
投資その他の資産		
投資有価証券	2,746	2,889
敷金及び保証金	624	626
繰延税金資産	655	674
その他	1,432	1,398
貸倒引当金	△852	△806
投資その他の資産合計	4,605	4,782
固定資産合計	5,763	5,927
資産合計	18,342	18,210

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,129	1,745
短期借入金	2,100	2,048
1年内返済予定の長期借入金	1,461	1,342
未払金	663	813
未払法人税等	278	2
解約調整引当金	2,308	2,520
賞与引当金	499	146
その他	1,024	1,376
流動負債合計	10,464	9,995
固定負債		
長期借入金	1,993	2,056
その他	665	806
固定負債合計	2,659	2,863
負債合計	13,124	12,858
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	1,051	1,051
利益剰余金	1,507	1,322
自己株式	△899	△899
株主資本合計	1,759	1,574
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	788	935
為替換算調整勘定	2	2
その他の包括利益累計額合計	791	938
非支配株主持分	2,667	2,839
純資産合計	5,218	5,351
負債純資産合計	18,342	18,210



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
売上高	5,243	6,260
売上原価	2,305	3,170
売上総利益	2,937	3,090
販売費及び一般管理費	2,763	2,854
営業利益	174	236
営業外収益		
受取給付金	—	3
受取手数料	2	1
貸倒引当金戻入額	25	—
その他	0	3
営業外収益合計	28	8
営業外費用		
支払利息	6	10
寄付金	20	0
その他	0	0
営業外費用合計	27	11
経常利益	175	233
特別利益		
投資有価証券売却益	23	—
特別利益合計	23	—
特別損失		
抱合せ株式消滅差損	—	6
特別損失合計	—	6
税金等調整前四半期純利益	198	227
法人税、住民税及び事業税	24	61
法人税等調整額	74	14
法人税等合計	99	76
四半期純利益	99	151
非支配株主に帰属する四半期純利益	65	76
親会社株主に帰属する四半期純利益	34	74

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	99	151
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	241
為替換算調整勘定	△0	0
その他の包括利益合計	△3	242
四半期包括利益	95	393
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	30	221
非支配株主に係る四半期包括利益	65	171

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(会計上の見積りの変更に関する注記)

(貸倒引当金及び解約調整引当金の見積りの変更)

当社の連結子会社である株式会社NEXYZ, ファシリティーズにおいて、貸倒引当金及び解約調整引当金を計上しておりますが、債権回収方法の整備を進めてきた結果、債権回収率の算定について十分な期間の実績データが蓄積されたことから、当連結会計年度より、債権回収率の算定対象期間の見直しを行いました。

これにより、従来の方々と比べて当第1四半期連結累計期間の貸倒引当金が38百万円減少し、解約調整引当金が226百万円減少しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前当四半期純利益はそれぞれ265百万円増加しております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エンベデッ ド・ファイ ナンス事業	メディア・ プロモーシ ョン事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,090	1,150	5,241	1	5,243	—	5,243
セグメント間の内部売 上高又は振替高	8	5	14	—	14	△14	—
計	4,099	1,156	5,255	1	5,257	△14	5,243
セグメント利益	201	201	403	0	403	△228	174

(注) 1. セグメント利益の調整額△228百万円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。

なお、全社収益は、主に連結子会社からの管理業務受託料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用及び各報告セグメントに配分していない人件費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2024年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エンベデ ド・ファイ ナンス事業	メディア・ プロモーシ ョン事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,030	1,223	6,253	7	6,260	—	6,260
セグメント間の内部売 上高又は振替高	12	—	12	—	12	△12	—
計	5,042	1,223	6,266	7	6,273	△12	6,260
セグメント利益又は損 失 (△)	232	224	456	△0	456	△219	236

(注) 1. セグメント利益の調整額△219百万円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。

なお、全社収益は、主に連結子会社からの管理業務受託料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用及び各報告セグメントに配分していない人件費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	27百万円	28百万円